

ヘアカラーをした後、額にかゆみがでました アレルギーのパッチテストをしましょう

中野皮膚科クリニック

<http://www.nakano-derma.com/>

染毛剤が接触したところに赤みや湿疹、かゆみが起こり、パッチテストで原因を特定し、治療しましょう。



ヘアカラーをした後、髪染めなどの2種類が生え際などに赤みや湿疹があります。染毛剤には発色をよくするため酸化剤が多用されています。ヘアカラーのかぶれについて、日本皮膚科学会皮膚科専門医、中野皮膚科クリニック院長の中野光馬先生に聞きました。

「かぶれの原因は？」
「ヘアカラー剤には化粧品として取り扱われる染毛料（ヘアマムニキュアなど）と医薬部外品の染毛剤（ヘアカラー、白髪、赤みなどの症状が起

こります。最初は軽くても、使用するたびに悪化したり、それまで使っていた染毛剤で突然、発症することもあります。中には、血圧の低下や呼吸困難などアナフィラキシーと呼ばれる重篤なショック症状を起こすこともあるので、注意が必要です」

治療法は？

「今は、パラフェニレンジアミンを含む21種類のアレルゲンを診断できるパッチテストが保険診療で行えます。一度でもかぶれやかゆみがでたらセルフテストはせずに、皮膚科を受診しましょう。治療には症状の程度により、ステロイドの外用、内服を行います。パッチテストでアレルギー反応が出た成分を含まない製品を選ぶことも重要です」

中野皮膚科クリニック
(マルニビル5階)



問い合わせ

中野皮膚科クリニック

中野区中野2-30-3、マルニビル5階。中野駅南口徒歩2分

☎03-5342-0722

診療受付時間	月	火	水	木	金	土
9:30 ~ 13:00	○	○	○	○	○	○
15:00 ~ 19:00	○	○	○	○	○	17:00 まで受付

休診日:日曜、祝日

院長:松尾光馬 日本皮膚科学会皮膚科専門医、医学博士。東京慈恵会医科大学医学部卒業、同大附属病院皮膚科非常勤講師

2015年12月26日付 「リビング東京副都心」に掲載されました